

平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ポーラ・オルビスホールディングス

コード番号 4927 URL <http://www.po-holdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 郷史

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務担当 (氏名) 久米 直喜

TEL 03-3563-5517

四半期報告書提出予定日 平成26年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	50,213	21.8	5,453	240.6	5,160	140.6	2,470	96.3
25年12月期第1四半期	41,238	5.9	1,601	30.7	2,144	35.7	1,258	74.3

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 2,825百万円 (△42.4%) 25年12月期第1四半期 4,904百万円 (78.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	44.68	44.65
25年12月期第1四半期	22.76	22.75

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第1四半期	220,279	175,047	79.2	3,155.75
25年12月期	218,005	173,887	79.5	3,133.82

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 174,462百万円 25年12月期 173,250百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	25.00	—	30.00	55.00
26年12月期	—				
26年12月期(予想)		40.00	—	47.00	87.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	95,500	4.5	7,500	18.9	7,400	0.9	3,600	5.8	65.12
通期	198,000	3.5	17,650	10.2	17,900	0.4	8,800	20.2	159.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期1Q	57,284,039 株	25年12月期	57,284,039 株
26年12月期1Q	2,000,000 株	25年12月期	2,000,000 株
26年12月期1Q	55,284,039 株	25年12月期1Q	55,284,039 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成26年1月1日～平成26年3月31日）におけるわが国の経済は、政府の経済対策や金融政策による雇用及び所得環境の改善などを背景に個人消費が増加傾向にあるなか、消費税率引上げに伴う駆け込み需要もあり、景気は緩やかに回復しております。今後は、海外景気の下振れが国内景気に対してマイナスとなるリスクや、消費税率引上げによる消費動向鈍化への懸念など、先行きについて不透明な状況はあるものの、各種政策の効果等により景気の回復基調が続くことが期待されます。

国内化粧品市場においては、国内景気の回復基調を受け、市場全体としても堅調に推移しております。海外化粧品市場においては、中国をはじめとするアジア地域の経済成長に鈍化がみられるものの、緩やかな拡大傾向が続いております。

このような市場環境のもと、今年度からスタートした新3ヶ年中期経営計画に基づき、国内の更なる収益基盤強化と海外展開の加速、資本効率改善による企業価値向上に向けた取り組みを進めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における業績は次のとおりとなりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、基幹ブランドの新製品発売および国内ブランドにおける消費税率引上げに伴う駆け込み需要の影響があり、前年同期比21.8%増の50,213百万円となりました。営業利益は上記売上増加に伴う売上総利益増加により前年同期比240.6%増の5,453百万円、経常利益は前年度末から円高に推移したことによる為替差損を計上し前年同期比140.6%増の5,160百万円となりました。その結果、四半期純利益は前年同期比96.3%増の2,470百万円となりました。

〔業績の概要〕

	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期	
			増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	41,238	50,213	8,975	21.8
営業利益	1,601	5,453	3,852	240.6
経常利益	2,144	5,160	3,015	140.6
四半期純利益	1,258	2,470	1,212	96.3

〔セグメント別の業績〕

売上高（外部顧客への売上高）

	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期	
			増減額 (百万円)	増減率 (%)
ビューティケア事業	38,559	47,110	8,550	22.2
不動産事業	719	762	43	6.0
その他	1,960	2,341	381	19.4
合計	41,238	50,213	8,975	21.8

セグメント利益又は損失（△）（営業利益又は損失（△））

	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期	
			増減額 (百万円)	増減率 (%)
ビューティケア事業	1,472	5,266	3,793	257.6
不動産事業	321	341	20	6.4
その他	△132	△16	116	—
セグメント利益の調整額 (注)	△60	△138	△78	—
合計	1,601	5,453	3,852	240.6

（注）セグメント利益の調整額とは、グループの内部取引に伴う利益及びセグメントに含まれない経費などを連結時に消去・加算した金額であります。なお、セグメント利益の調整額の詳細につきましては、P11～12「1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報（注2）」をご覧ください。

（ビューティケア事業）

ビューティケア事業は、基幹ブランドとして「POLA」「ORBIS」を、育成ブランドとして「pdc」「FUTURE LABO」「ORLANE」「decencia」「THREE」を、海外ブランドとして「Jurlique」「H2O PLUS」を展開しております。

POLAブランドでは、エステ併設型集客店舗「ポーラザビューティ」や百貨店への積極展開、訪問販売組織の拡大による顧客接点の拡充や、販売品質やカウンセリング技術の更なる向上等、お客さま満足の向上に向けた取り組みを行っております。国内市場においては、1月に表情圧によって現われるサインに着目した「サインズショット」を発売しました。消費税率引上げに伴う駆け込み需要の影響を受け、高価格帯商品が特に好調に推移しました。海外市場においては、重点市場の中国にて、百貨店事業が新規のお客さま獲得数の増加により堅調に成長しております。その結果、POLAブランドは前年同期を上回る売上高となりました。

ORBISブランドでは、スキンケア商品の充実やインターネット販売の強化、新基幹システムを活用した顧客コミュニケーションの進化や販売促進活動の更なる効率化に取り組んでおります。国内市場においては、2月にブランド再構築の商品戦略面の中核を担い、オイルカットスキンケアの新たな象徴となる新スキンケアシリーズ「ORBIS=U」を発売しました。消費税率引上げに伴う駆け込み需要の影響を受け、購入客数と一人当たり購入点数ともに増加しております。海外市場においては、引き続きブランド認知拡大に向けた取り組みを行っております。その結果、ORBISブランドは前年同期を上回る売上高となりました。

育成ブランドについては、THREEブランドやd e c e n c i aブランドを中心に、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の影響も受けた好調な販売の結果、前年同期を上回る売上高となりました。

海外ブランドについては、成長ドライバーであるアジアを中心とした高成長維持と収益貢献の実現に向けた取り組みを行っております。J u r l i q u eブランドは中国市場を筆頭に事業を拡大しており、H 2 O P L U Sブランドは北米市場での販売が好調に推移しております。その結果、海外ブランドは前年同期を上回る売上高となりました。

以上の結果、売上高（外部顧客に対する売上高）は47,110百万円（前年同期比22.2%増）、営業利益は5,266百万円（前年同期比257.6%増）となりました。

（不動産事業）

不動産事業では、都市部のオフィスビル賃貸を中心に、魅力的なオフィス環境の整備による賃料の維持向上と空室率の低下に取り組むとともに、子育て支援に特化した賃貸マンション事業も展開しております。当第1四半期連結累計期間は、賃料維持やテナント誘致に向けた営業努力により、前年同期を上回る売上高となりました。

以上の結果、売上高（外部顧客に対する売上高）は762百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益は341百万円（前年同期比6.4%増）となりました。

（その他）

その他に含まれている事業は、医薬品事業及びビルメンテナンス事業であります。

医薬品事業では、化粧品や医薬部外品研究で培ってきた当社グループの研究成果を活用し、新薬開発及び販売を行っております。当第1四半期連結累計期間においては、重点領域である皮膚科領域にリソースを集中した継続的な活動の結果、外用抗真菌剤「ルリコン」の市場シェア拡大が継続し、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の影響も加えて、前年同期を上回る売上高となりました。

ビルメンテナンス事業は、当社グループ会社を主な取引先としております。当第1四半期連結累計期間においては、新規取引先との成約に向けた営業活動や、消費税率引上げに伴う繰上げ受注により、前年同期を上回る売上高となりました。

以上の結果、売上高（外部顧客に対する売上高）は2,341百万円（前年同期比19.4%増）、営業損失は16百万円（前年同期は営業損失132百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,274百万円増加し、220,279百万円(前連結会計年度末比1.0%増)となりました。主な増減項目は、受取手形及び売掛金の増加2,505百万円及び商品及び製品の増加984百万円、高島台マンション竣工等による建物及び構築物の増加2,964百万円、余剰資金の運用による有価証券の増加7,299百万円並びに投資有価証券の増加6,220百万円により増加し、一方で現金及び預金の減少17,109百万円、建設仮勘定の振替等による有形固定資産「その他」の減少2,016百万円により減少しております。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1,114百万円増加し、45,232百万円(前連結会計年度末比2.5%増)となりました。主な増減項目は、支払手形及び買掛金の増加1,675百万円により増加しております。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,160百万円増加し、175,047百万円(前連結会計年度末比0.7%増)となりました。主な増減項目は、四半期純利益の計上2,470百万円、為替の影響による為替換算調整勘定の増加441百万円により増加し、一方で剰余金の配当1,658百万円により減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における実績及び現下の経済状況等に鑑み、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動による業績影響を見直したことから、平成26年2月13日に発表しました公表数値より第2四半期連結累計期間の連結業績予想を以下のように変更することといたしました。なお、通期の連結業績予想につきましては、消費税率引上げが年間に与える影響は軽微と認識していることから、据え置くことといたします。

平成26年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 94,600	百万円 6,900	百万円 7,100	百万円 3,450	円 銭 62.40
今回修正予想(B)	95,500	7,500	7,400	3,600	65.12
増減額(B-A)	900	600	300	150	—
増減率(%)	1.0	8.7	4.2	4.3	—
(参考)前期第2四半期実績 (平成25年12月期第2四半期)	91,415	6,305	7,335	3,402	61.55

(参考情報)

前期累計期間実績

	第 1 四 半 期	第 2 四 半 期	第 3 四 半 期	第 4 四 半 期
売 上 高	百万円 41,238	百万円 91,415	百万円 137,346	百万円 191,355
営 業 利 益	1,601	6,305	9,809	16,017
経 常 利 益	2,144	7,335	10,852	17,836
四半期純利益	1,258	3,402	4,905	7,318

前期会計期間実績

	第 1 四 半 期	第 2 四 半 期	第 3 四 半 期	第 4 四 半 期
売 上 高	百万円 41,238	百万円 50,177	百万円 45,930	百万円 54,009
営 業 利 益	1,601	4,704	3,504	6,208
経 常 利 益	2,144	5,190	3,516	6,983
四半期純利益	1,258	2,144	1,502	2,413

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,492	17,383
受取手形及び売掛金	24,023	26,528
有価証券	17,608	24,907
商品及び製品	12,099	13,084
仕掛品	1,699	1,884
原材料及び貯蔵品	4,983	5,376
その他	7,779	8,538
貸倒引当金	△150	△155
流動資産合計	102,537	97,547
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,286	21,250
土地	22,380	22,330
その他(純額)	16,322	14,305
有形固定資産合計	56,989	57,886
無形固定資産		
のれん	15,856	15,890
商標権	12,327	12,455
その他	9,842	9,881
無形固定資産合計	38,025	38,227
投資その他の資産		
投資有価証券	14,122	20,343
その他	6,450	6,396
貸倒引当金	△120	△121
投資その他の資産合計	20,452	26,618
固定資産合計	115,467	122,732
資産合計	218,005	220,279

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,105	5,780
短期借入金	1,034	1,501
未払法人税等	3,568	3,070
賞与引当金	1,731	1,832
その他の引当金	2,731	2,151
その他	17,470	17,563
流動負債合計	30,640	31,899
固定負債		
長期借入金	1,000	1,000
退職給付引当金	5,908	5,805
その他の引当金	67	67
その他	6,500	6,459
固定負債合計	13,477	13,332
負債合計	44,117	45,232
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	90,718	90,718
利益剰余金	67,941	68,753
自己株式	△2,199	△2,199
株主資本合計	166,460	167,272
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	454	413
為替換算調整勘定	6,335	6,777
その他の包括利益累計額合計	6,789	7,190
新株予約権	90	103
少数株主持分	546	480
純資産合計	173,887	175,047
負債純資産合計	218,005	220,279

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	41,238	50,213
売上原価	8,131	9,666
売上総利益	33,107	40,547
販売費及び一般管理費		
販売手数料	10,253	12,133
販売促進費	4,612	4,867
広告宣伝費	1,395	1,667
給料手当及び賞与	4,754	5,126
賞与引当金繰入額	1,053	1,122
ポイント引当金繰入額	406	415
その他	9,030	9,759
販売費及び一般管理費合計	31,505	35,093
営業利益	1,601	5,453
営業外収益		
受取利息	109	90
為替差益	390	—
その他	64	60
営業外収益合計	564	151
営業外費用		
支払利息	16	33
為替差損	—	391
その他	5	19
営業外費用合計	21	444
経常利益	2,144	5,160
特別利益		
固定資産売却益	211	18
その他	1	0
特別利益合計	213	19
特別損失		
固定資産除却損	50	14
事業整理損	1,001	—
事業構造改善費用	—	34
その他	1	14
特別損失合計	1,053	63
税金等調整前四半期純利益	1,304	5,116
法人税、住民税及び事業税	1,008	3,060
法人税等調整額	△966	△364
法人税等合計	42	2,696
少数株主損益調整前四半期純利益	1,262	2,419
少数株主利益又は少数株主損失(△)	3	△50
四半期純利益	1,258	2,470

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,262	2,419
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	266	△40
為替換算調整勘定	3,374	444
持分法適用会社に対する持分相当額	1	1
その他の包括利益合計	3,642	405
四半期包括利益	4,904	2,825
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,893	2,871
少数株主に係る四半期包括利益	11	△46

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビューティ ケア事業	不動産事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	38,559	719	39,278	1,960	41,238	—	41,238
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18	167	186	617	803	△803	—
計	38,578	886	39,464	2,577	42,042	△803	41,238
セグメント利益又は 損失(△)	1,472	321	1,794	△132	1,661	△60	1,601

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品事業及びビルメンテナンス事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△60百万円には、セグメント間取引消去504百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△564百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社本社の管理部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビューティ ケア事業	不動産事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	47,110	762	47,872	2,341	50,213	—	50,213
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19	150	169	743	913	△913	—
計	47,129	912	48,041	3,084	51,126	△913	50,213
セグメント利益又は 損失(△)	5,266	341	5,608	△16	5,592	△138	5,453

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品事業及びビルメンテナンス事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△138百万円には、セグメント間取引消去446百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△584百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社本社の管理部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。